～欣浄寺法語メール～２０１７年５月～

「みんなのお宝」

　人気テレビ番組「開運なんでも鑑定団」が東員町にやってくるそうで、町内のちょっとした話題になっています。２、３の知り合いの方も自慢のお宝を出品、はたして８月の放送で取りあげてもらえるか他人事ながら今からワクワクします。

　江戸時代の画家谷文晁（たにぶんちょう）の作品には偽物が多く、鑑定団に登場する毎に「あー、またきっと偽物だ」と思うのは小生一人ではありますまい。その文晁に師匠をしのぐほどの画才をもった弟子がいて、どんな無茶な注文も見事な作品に仕上げたそうです。ある時頼まれたのが「富士越えの虎」、突飛な題材をどうするか周りが興味しんしん

で見ていると、描いたのが子どもがタコ揚げをしている風景。そのタコが富士山をも越えようかと空高く舞い上がっています、そしてそのタコには虎が・・・。得意げな弟子に仲間たちはさすが見事と思ったのですが、師匠文晁は一言、「この絵は駄目だ」。怪訝そうな弟子に師匠は諭します。「何故そのタコの糸を切っておかぬか、いくら高くあがっても糸がある限りタコは富士の山を越えることはない」と。さすがに師匠だ、と弟子は自分の慢心に気づいたのでした。仏像を製作する仏師が「彫っているのは間違いなく自分だが、木材の中から仏さまが現れてくださるのです」と言っていました。仏像に人類の宝を見た心境なのでしょう。

　さて、「出張！なんでも鑑定団 in 東員」

にどんなお宝が登場するか楽しみです。